

---

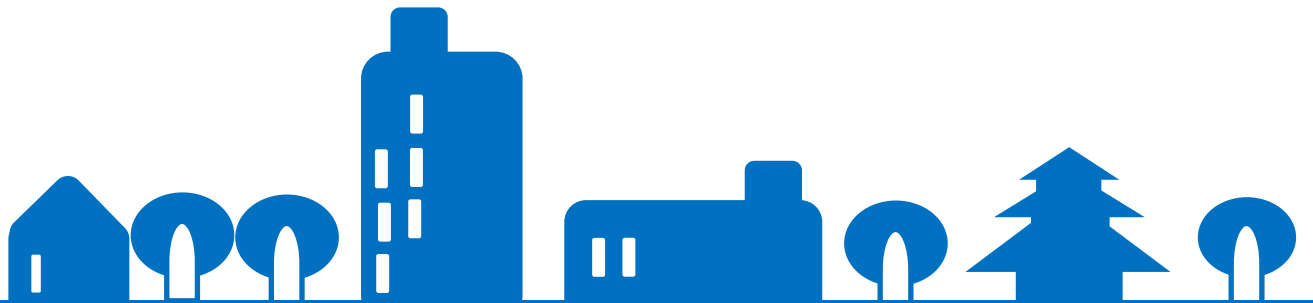
弘前市経営計画  
(概要版)

---

平成 26(2014)年度-平成 29(2017)年度

平成 29 年 3 月改訂

子どもたちの  
笑顔あふれるまち  
弘前



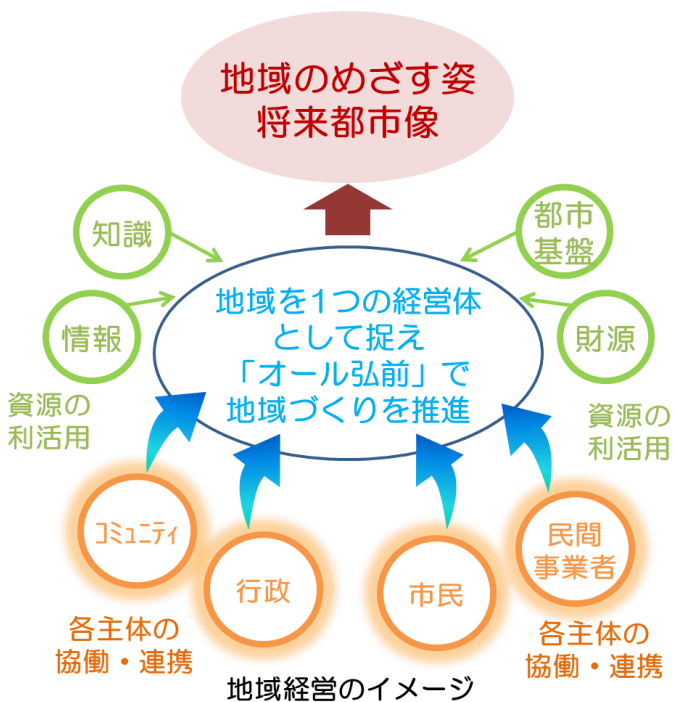
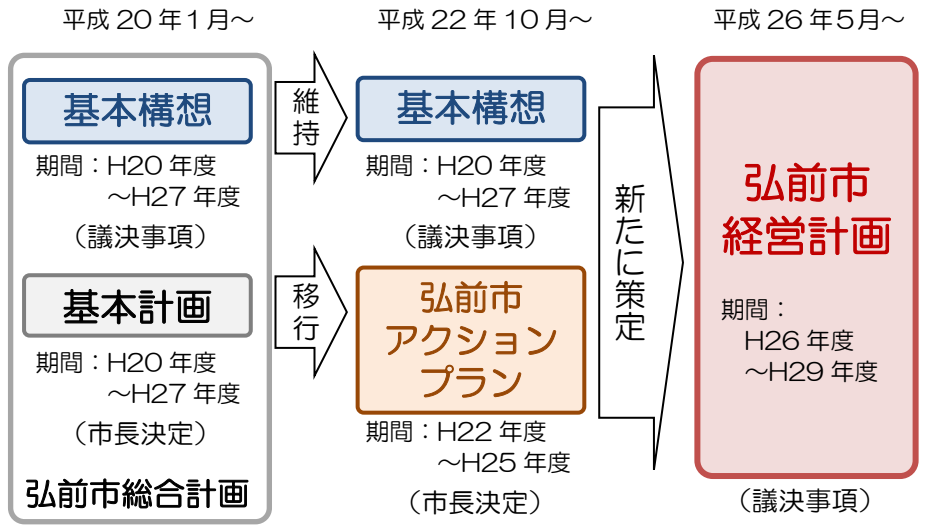
# ◆ 計画策定の趣旨と本計画の特徴

## 計画策定の趣旨と背景

本市ではこれまで、基本構想、基本計画や弘前市アクションプランに基づき施策・事業を展開してきました。

しかし、社会経済環境はここ数年で大きく変化しています。

そこで、このような変化に迅速に対応し、地域の持続的な成長・発展を実現するため、新たな最上位計画となる「弘前市経営計画」を策定しました。20年後の弘前市を見定めながらも、機動的な市政運営を行うために、市長任期と同様の4年間を計画期間としたものです。



## 本計画の特徴

本計画は、「地域経営 ※」を実現するための計画（地域経営型計画）として位置づけられており、本市が克服すべき社会課題や地域づくりの目標（将来都市像）、それを実現するための行政による具体的な取り組み（戦略体系）を定めるとともに、新たに市民等による具体的な取り組み（市民行動プログラム）を定めています。

### ※「地域経営」とは

行政だけではなく市民やコミュニティ、民間事業者等も含めた地域全体を1つの経営体として捉え、各主体が協力・連携し合いながら、地域の目指すべき具体的な目標や解決すべき課題を定め、その実現に向けて持ちうる資源を効果的・効率的に活用し、計画的に地域づくりを行うこと

# ◆ 社会経済の将来展望（対応すべき変化）

## 今後も予想される変化

社会経済環境については今後も大きく変化することが予測され、特に本市にとっても影響度の高いものとして次の様なものが挙げられます。

- 人口減少・超高齢社会の到来
- 財政状況の深刻化
- 国・地域間競争の激化と地域格差の拡大
- 社会的リスクの多様化・増大
- 地域間連携の必要性の高まり
- エネルギーの利用・供給体制の転換
- 知識情報社会の到来と情報通信技術の進展

## ◆ 弘前市の20年後の将来都市像（めざす姿）

### 20年後に向けた地域づくりの目標

人口減少、超高齢社会の到来など本市を取り巻く社会経済の将来展望は厳しいものと予想されます。そのような変化に対応していくためには、弘前という地域を将来どのような姿にしていけるのか、計画に関わる各主体で共有し、オール弘前で地域経営を行うことが必要です。生まれた子どもが成人する20年という長期的な地域づくりの目標として、弘前市の将来都市像（めざす姿）を次のように掲げました。

## 子どもたちの笑顔あふれるまち 弘前

### ひとづくり

郷土への愛に裏打ちされた  
自立心を持つ多様・多才な  
「弘前人」が躍動するまち

### くらしづくり

郷土の豊かな歴史や  
伝統・文化に囲まれ生き生き  
と安心して暮らせるまち

### まちづくり

雪に克ち、古さと新しさが  
交わる魅力とやさしさに  
あふれるまち

### なりわいづくり

高い競争力を持った  
地域産業が育ち多くの人々  
が訪れ楽しめるまち

## ◆ 将来都市像の実現に向けた戦略の全体像

### 総合的・網羅的に体系化

本計画では、ひとづくり・くらしづくり・まちづくり・なりわいづくりの4つの観点により、各分野の課題に対して網羅的・総合的に取り組みを体系化した「②分野別政策」をベースにしつつ、分野横断的な取り組みとして、「弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を人口減少対策として展開していきます。

また、身近な地域課題に対し、市民が主体となって実施する取り組み「③市民行動プログラム」を本計画の中に位置づけるとともに、地域づくりに関わる体制・能力を強化するための「④戦略推進システム」を構築・展開し、効率的・効果的な地域経営を推進します。

将来都市像の実現に向けた戦略	
①	<b>弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略</b> 地域の最重要課題である人口減少の抑制のための分野横断的な取り組み
②	<b>分野別政策</b> 主に行政が実施する分野ごとの基本的、総合的な取り組み
③	<b>市民行動プログラム</b> 身近な地域課題に対し市民が主体的に実施する取り組み
④	<b>戦略推進システム</b> 効果的・効率的な地域経営を実現するための仕組みづくり

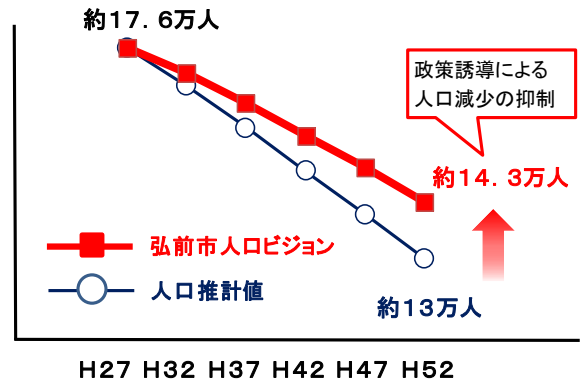
# 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略

本市の将来人口推計によると、平成52年には約13万人まで人口が減少する見込みとなっています。

推計のとおり人口減少が進んでいけば、労働力や消費活動の減少による経済規模の縮小、税収減、社会保障費の増大等を引き起こし、結果として本市の総合的な地域活力を低下させるため、社会経済環境を維持していくことが困難となります。

この負のスパイラルに陥る前に、人口減少を抑制し、地域経済の維持・成長を成し遂げるため、弘前市人口ビジョンで示した将来展望を基に、あらゆる分野の課題に対し、オール弘前体制で取り組むため、「弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進していきます。

＜弘前市の将来推計人口の推移＞



人口推計値：国立社会保障・人口問題研究所資料より

## 5つの基本目標と弘前の強みを活かした施策

※分野別政策の中から、次の5つの基本目標に対して貢献度の高い施策・事務事業を抽出し構成しています。

### 目標①

#### 安定した雇用創出と地域産業のイノベーション

##### 【施策】

- 若者と女性の雇用環境を改善
- 就業人口の上昇
- 地域産業のイノベーションと成長による雇用の創出
  - りんご産業イノベーション戦略の推進
  - ライフ・イノベーションの推進による健康・医療産業の創出
  - 外国人観光客の誘客促進等による交流人口と観光消費額の拡大
  - 地域を牽引する産業の振興

### 目標②

#### 弘前への新しいひとの流れと定住の推進

##### 【施策】

- UJIターンの促進
- 子育て支援の充実による移住・定住の推進
- 「弘前版生涯活躍のまち（CCRC）」の推進

主な事業  
 ◇ひろさき移住サポートセンター東京事務所  
 ◇子育て世帯移住促進補助金  
 ◇弘前版生涯活躍のまち（CCRC）推進事業

### 目標③

#### 若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート

##### 【施策】

- 結婚へのサポート
- 安心して妊娠・出産できる環境づくり
- 子育て環境の改善
  - 子育てに係る負担軽減
  - 地域で取組む子育て環境づくり
- 未来をつくるひとづくりの推進
  - 新たな時代に対応する多様な教育の展開
  - 夢に向かってチャレンジする子どもたちの応援

### 目標④

#### 健やかで、生き生きらせる地域づくり

##### 【施策】

- 健康都市づくり
  - オール弘前体制での健康づくりの推進
  - 生活習慣病発症及び重症化の予防
- 活力ある長寿社会の構築

### 目標⑤

#### 弘前ならではのまちづくり

- 未来へつなぐまちの魅力向上
  - 文化財の活用による魅力創出
  - 雪対策イノベーションの推進
- 都市機能の強化
  - 快適な都市空間の形成と拠点地域の整備
  - 公共交通ネットワークの確保
  - 弘前型スマートシティの推進
  - 既存ストックのマネジメント強化
- オール弘前によるまちづくりの推進
  - 市民による地域づくりの推進
  - 学生による地域づくりの推進
  - 自助・共助による地域防災力の向上

## 分野別 政策

将来都市像の実現に向け、分野ごとに現状と課題を詳しく分析し、必要な取り組みを網羅的・総合的に展開します。

# ひとづくり

未来を担う人づくりを進めるため、結婚し、子どもを産み育てるための環境づくりを行うとともに、確かな学力の定着や豊かな心を育む教育の充実を図ります。

また、多種多様な学習機会の提供や、文化・スポーツ活動を振興するなど、生涯学習の充実を図ります。



### ●戦略の体系 <平成 29 年度事業費：約 84 億円（111 事業）>

	I 子育て	II 子どもの学び	III 多様な学び
政策の方向性	1. 弘前っ子の誕生 2. 子育てに係る負担の軽減 3. 笑顔あふれる子育て環境づくり	1. 社会を生き抜き、未来をつくる弘前っ子の育成 2. 学びと育ちの環境の充実	1. 学び合い支え合う生涯学習活動の推進 2. 郷土弘前を愛し、自然や歴史・文化財を守る心の醸成 3. 文化・スポーツ活動の振興
主な事業	◇弘前めぐりあいサポーター出愛（であい）創出事業 ◇不妊治療費助成事業 ◇ひろさき子どもの発達支援事業 ◇保育料の軽減 ◇子ども医療費給付事業 ◇多子家族学校給食費支援事業 ◇多子家族上下水道料金支援事業 ◇弘前市人口減少対策に係る企業認定制度（子育て応援企業）	◇フレンドシップ（不登校対策・適応指導教室運営）事業 ◇「弘前式」ICT 活用教育推進事業 ◇英語教育推進事業 ◇「ひろさき（まんじ）学」新設事業 ◇教育自立圏構築推進事業 ◇放課後子ども教室事業 ◇インクルーシブ教育システム構築事業	◇古文書デジタル化推進事業 ◇文化財施設公開事業 ◇史跡等公開活用事業 ◇プロ野球一軍戦誘致事業 ◇広域スポーツ少年団育成事業 ◇弘前市運動公園防災拠点化事業 ◇東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致事業

# くらしづくり

市民一人ひとりが、健康的で生き活きと暮らすことができるよう、保健、医療、福祉の充実を図ります。また、災害に強く、犯罪のない、安全で、安心して暮らせる地域づくりを進めます。



### ●戦略の体系 <平成 29 年度事業費：約 29 億 3 千万円（68 事業）>

	I 健康	II 福祉	III 安全・安心
政策の方向性	1. 生活習慣病発症及び重症化の予防 2. こころとからだの健康づくり 3. 地域医療提供基盤の充実・安定化	1. 高齢者福祉の充実 2. 障がい者福祉の充実 3. 生活保護世帯の自立支援の充実 4. 自立・就労支援の充実	1. 危機対応力の向上 2. 災害対策のための基盤の強化 3. 安全・安心な生活環境の確保
主な事業	◇中学生ピロリ菌検査事業 ◇大腸がん無料クーポン事業 ◇いきいき健診事業 ◇健康増進プロジェクト推進事業 ◇弘前市健康づくりサポーター制度 ◇弘前市地域健康増進学講座開設事業 ◇弘前市人口減少対策に係る企業認定制度（ひろさき健やか企業） ◇地域救急医療学講座開設事業	◇高齢者健康トレーニング教室 ◇高齢者ふれあい居場所づくり事業費補助金 ◇弘前自立支援介護推進事業 ◇障がい者就労支援事業 ◇自立相談支援事業 ◇生活困窮者無料職業紹介事業	◇防災まちづくり推進事業 ◇自主防災組織等育成支援事業 ◇市街地浸水対策事業 ◇LED 防犯灯整備管理事業



# ○ まちづくり

市民生活に大きな影響を与える冬季の雪への対策のほか、美観等を考慮した住環境の整備や多くの役割を果たす公園の整備、道路網や上下水道の整備など、都市基盤の充実を図ります。また、循環型社会の形成を目指し、エネルギーや環境に対する取り組みを行います。



## ●戦略の体系 <平成 29 年度事業費：約 87 億 3 千万円（86 事業）>

	I 雪対策	II 都市環境	III 生活基盤	IV エネルギー・環境
政策の方向性	<ol style="list-style-type: none"> <li>冬期間における快適な道路環境の形成</li> <li>地域一体となった新たな除雪体制の構築</li> <li>雪対策イノベーションの推進</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>快適な都市空間の形成</li> <li>魅力あふれる弘前づくりの推進</li> <li>文化財の保存と整備</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>道路網・道路施設の整備と維持管理</li> <li>道路環境の安全性の向上</li> <li>公共交通の利便性の向上</li> <li>安全・安心な上下水道の整備</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>エネルギー政策の推進</li> <li>自然環境の保全・活用</li> <li>生活環境の維持</li> </ol>
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇間口除雪軽減事業</li> <li>◇道路融雪施設整備事業</li> <li>◇消流雪溝整備事業</li> <li>◇地域除雪活動支援事業</li> <li>◇町会雪置き場事業</li> <li>◇道路等融雪対策推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇立地適正化計画推進事業</li> <li>◇空き家・空き地の利活用事業</li> <li>◇弘前城本丸石垣整備事業</li> <li>◇近代建築ツーリズム推進事業</li> <li>◇吉野町緑地周辺整備事業</li> <li>◇津軽歴史文化資料展示施設等整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇アップロード整備事業</li> <li>◇道路補修事業（舗装補修、側溝補修）</li> <li>◇道路環境サポーター制度</li> <li>◇通学路対策事業</li> <li>◇地域公共交通会議負担金</li> <li>◇相馬地区浄水施設更新事業</li> <li>◇上下水道事業運営基盤強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇スマートシティ構想推進事業</li> <li>◇省エネ設備導入事業</li> <li>◇街なかカラス対策事業</li> <li>◇ごみ集積ボックス設置費補助事業</li> <li>◇廃棄物処理計画推進事業</li> <li>◇弘前 3・3 運動推進事業</li> </ul>

# ○ なりわいづくり

激化する国・地域間競争や地域格差の拡大に対応するため、地域資源の付加価値を高めるとともに、新たな取り組みへの支援を行うなど、地域の総合的な産業競争力の向上を図ります。



## ●戦略の体系 <平成 29 年度事業費：約 27 億 5 千万円（89 事業）>

	I 農林業振興	II 観光振興	III 商工業振興
政策の方向性	<ol style="list-style-type: none"> <li>農産物等の生産力の強化</li> <li>農産物等の販売力の強化</li> <li>担い手の育成と経営安定化に向けた支援</li> <li>農業の新たなチャレンジ</li> <li>農林業基盤の整備・強化</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>観光資源の魅力の強化</li> <li>戦略的な誘客活動の展開</li> <li>観光客受入環境の整備促進</li> <li>広域連携による観光の推進</li> <li>外国人観光客の誘致促進</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域を牽引する産業の育成</li> <li>商活動の活性化</li> <li>経営力の向上</li> <li>雇用・就職支援の充実</li> </ol>
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇弘前産りんご消費拡大戦略事業</li> <li>◇都市と地方をつなぐ就労支援カレッジ事業（就労支援カレッジ受入事業）</li> <li>◇りんご産業イノベーション戦略推進事業</li> <li>◇りんご産業イノベーション支援事業</li> <li>◇耕作放棄地対策事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇弘前さくらまつり 100 年記念事業</li> <li>◇大都市観光 PR キャンペーン事業</li> <li>◇イベント民泊事業</li> <li>◇多言語スマートリズム運営事業</li> <li>◇弘前市インバウンド推進協議会負担金</li> <li>◇さくらでインバウンド促進事業</li> <li>◇農・商・観連携プロモーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇重点 3 分野基盤強化事業</li> <li>◇ひろさきライフ・イノベーション推進事業</li> <li>◇お試しサテライトオフィス事業</li> <li>◇免税店環境整備事業</li> <li>◇物産の販路拡大・販売促進事業</li> <li>◇中心市街地活性化基本計画推進事業</li> <li>◇ひろさきローカルベンチャー育成事業</li> <li>◇大学・企業連携地元就職推進事業</li> <li>◇ひろさき UJI ターン就職促進事業</li> </ul>

## 戦略推進システム

地域づくりに関わる各主体の連携体制や経営能力を強化し、効果的・効率的な地域経営を実現するための仕組みを構築・展開します。

特に、知識情報化社会における新たなトレンドとして注目されている「ビッグデータ・オープンデータ」への取り組みや、市役所内に、地域課題などを調査分析し政策等に反映させることができるようシンクタンクを設置するなど、地域としての情報収集・分析力の向上とバックデータに基づく戦略的な地域経営を推進します。



### ●戦略の体系 <平成29年度事業費：約18億6千万円（78事業）>

	<重点システム>	<仕組みづくり>	
	<b>ビッグデータ・オープンデータを活用した地域経営</b>	<b>I オール弘前体制の構築</b>	<b>II 強い行政の構築</b>
政策の方向性	1. ビッグデータ・オープンデータの活用 2. 情報収集・分析力の高度化による効率的な地域経営	1. 市民対話の促進と情報発信力の強化 2. 協働による地域づくりの促進 3. 大学・研究機関等との連携の推進 4. 男女共同参画の推進 5. 多様性を受け入れる気風の醸成	1. 市役所の仕事力の強化 2. 合併効果の最大化及び他自治体との連携の推進 3. 健全な財政運営の推進
主な事業	◇ひろさきビッグデータ・オープンデータ推進事業 ◇ひろさき未来戦略研究推進事業 ◇「花」で彩るまちづくり推進事業 ◇地域経営アンケート事業 ◇政策効果モニター事業	◇シティプロモーションパワーアップ戦略推進事業 ◇市民参加型まちづくり1%システム支援事業 ◇ひろさき地方創生パートナー企業制度 ◇ひろさき地域観光人材育成推進事業 ◇弘前市人口減少対策に係る企業認定制度（女性活躍推進企業）	◇仕事カリノベーション事業（行革） ◇定住自立圏構想推進事業 ◇日本で最も美しい村づくり推進事業 ◇相馬地区PR事業 ◇いいかも！！弘前応援事業（ふるさと納税寄附金推進事業） ◇公共施設マネジメント推進事業

## 市民行動プログラム

本市でのこれまでの取り組みを継承し、行政、市民、コミュニティ、民間事業者等の連携・協力体制を一層進化させ、オール弘前体制による地域経営の推進を図ります。

本市におけるさまざまな市民活動に加え、市民主体の地域づくりの象徴である「市民参加型まちづくり1%システム支援事業」や、「学生地域活動支援事業」を活用した学生による地域づくりを「市民行動プログラム」にまとめ、将来都市像の実現に向けた取り組みとして本計画に位置づけます。



市民参加型まちづくり  
1%システム支援事業

学生地域活動  
支援事業

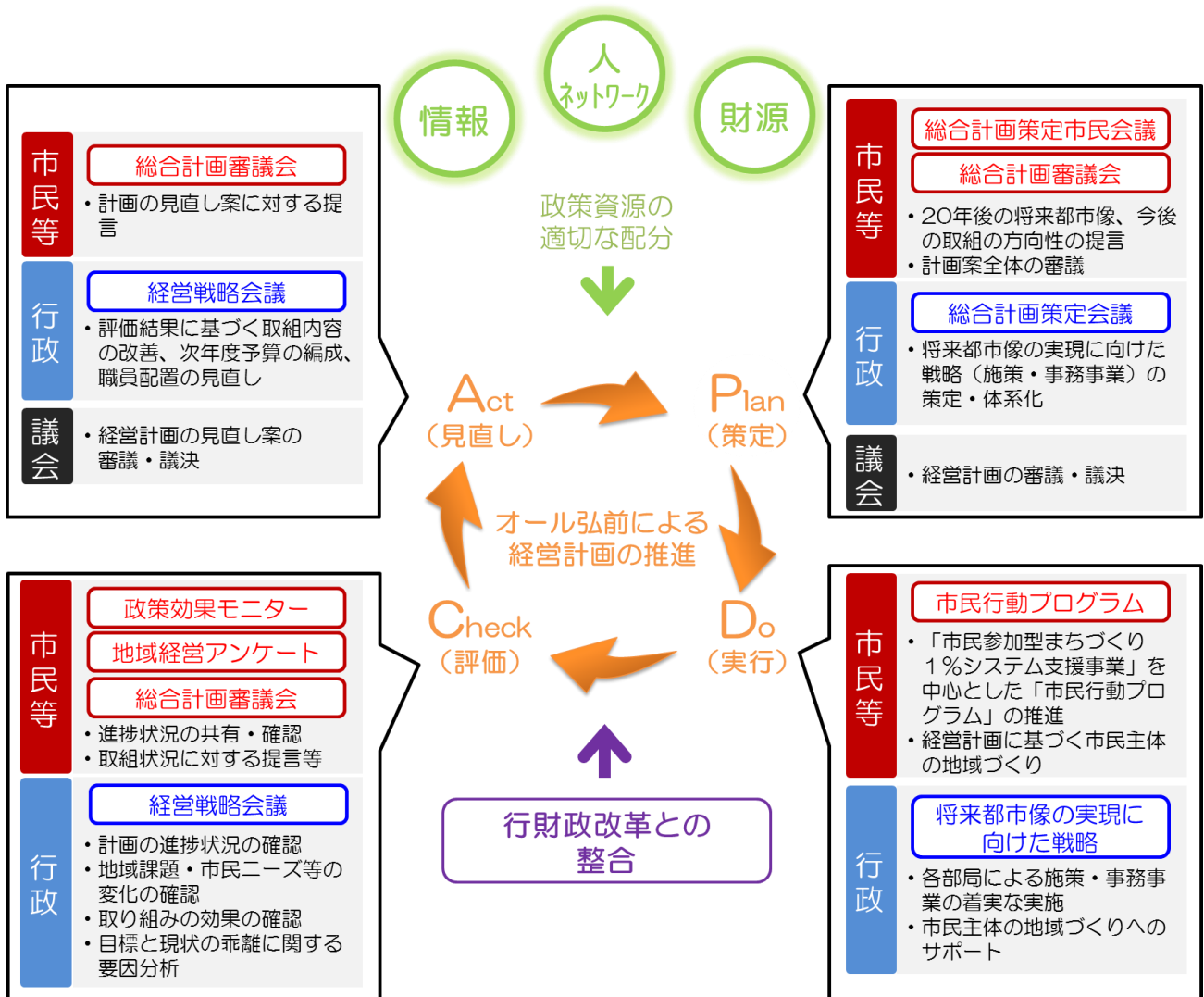
その他市民活動  
への支援事業

# ◆ 経営計画のマネジメントシステム

行政や市民、コミュニティ、民間事業者等が連携しながら、計画内容を継続的に改善・向上させていくためのマネジメントシステム（運用・管理手法）として、計画においては、Plan（計画の策定）-Do（実行）-Check（評価）-Act（見直し）のPDCAサイクルの考え方にに基づき、各主体との情報共有を図りながら、人材、財源、情報といった政策資源を適切に配分することにより、地域経営を推進していきます。

併せて、本計画と行財政改革の方向性を整合させることにより、自立性・持続性の高い地域経営を行います。

＜経営計画のマネジメントシステムの全体像＞



編集・発行 弘前市経営戦略部  
ひろさき未来戦略研究センター

〒036-8551 弘前市大字上白銀町 1-1  
TEL 0172-40-7021 / FAX 0172-35-7956

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>